

01 幾徳学園同窓会 法人化提案

提案趣旨：同窓会組織の法人化による持続可能な発展に向けて

1. はじめに：私たちの同窓会の現状と課題

長年、任意団体として活動が続けてまいりました当同窓会は、多くの会員の皆様のご支援により、今日まで親睦と母校支援の輪を広げてまいりました。しかしながら、現在、以下の課題に直面しています。

社会的信頼の維持：個人情報保護への要求が厳格化する中で、名簿管理や会費の適正な運用には、より高いレベルの透明性と法的責任が求められています。

運営の安定化：任意団体では個人名義での契約や口座管理が必要となるケースが多く、役員の交代時に引き継ぎや資産管理の面で大きなリスクを抱えています。

次世代への継承：長期的なOB/OG間交流事業や母校支援を確実に実行するためには、時代に左右されない、強固な基盤を持つ組織形態が必要です。

2. なぜ「一般社団法人」なのか

これらの課題を解決し、当同窓会が今後も皆様の誇りであり続けるために、私たちは「一般社団法人」への移行を提案いたします。法人化には、会員の皆様にとって以下のメリットがあります。

高い社会的信用と透明性：法人として登記されることで、社会的な信頼性が向上します。法令に基づいた適正な会計管理を行い、事業内容を公表することで、皆様からお預かりした会費がより誠実に管理・運用される環境が整います。

責任の明確化とリスク管理：法人格を持つことで、同窓会組織が主体となって契約や活動を行うことが可能になります。これにより、万が一の際の法的保護が明確になり、個人役員に過度な負担やリスクを負わせることなく、組織として健全な運営を維持できます。

永続的な活動基盤の確立：法人は人（役員）の交代に左右されません。これにより、長期的なOB/OGとのネットワーク維持や母校、現役学生への支援など、世代を超えた支援活動を安定して継続できます。

3. 皆様へのお約束

法人化に際して、同窓会が目指すのは「皆様が安心して参加できる開かれた組織」です。

民主的な運営の維持：法人化後も、会員の皆様の意思が運営に反映されるよう、定款にて民主的な意思決定プロセスを定めます。

会員情報の厳格な保護：法人として個人情報保護法をより厳格に遵守し、セキュリティレベルを向上させます。

身近な同窓会であること：組織は法人化しますが、私たちの目的はあくまで「会員間の交流」と「母校の発展」です。堅苦しい組織になるのではなく、より皆様に愛され、必要とされる同窓会を目指します。

4. 結びに

私たちは、この法人化を「同窓会の未来への投資」と考えています。皆様の思い出が詰まったこの場所を、次の世代にも胸を張って引き継げる資産とするために。何卒、本提案についてご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

02 同窓会事務局所在地変更のお知らせ

これまで神奈川工科大学学生課内にありました幾徳学園同窓会事務局を以下に移転しました。転居等の住所変更届はこれまで通りお問い合わせフォームにて受付いたします。それ以外の同窓会へのお問い合わせ、ご意見等は下記に直接お送りくださいますようお願いいたします。

新所在地：連絡先

〒243-0018 神奈川県厚木市中町3-3-17
神奈川工科大学IT エクステンションセンター 201号室
幾徳学園同窓会 本部事務局

TEL 050-1793-1427

FAX 050-3527-1493

E-mail ikutokudoso@gmail.com

HP <https://kait-ext.securesite.jp/kaitweb/>

問い合わせフォーム



03 次期役員候補者のご紹介

本年11月7日(土)の同窓会総会において一般社団法人化の承認後、役員選出を行います。一部候補者をご紹介します。詳細はホームページをご確認ください。



会長 中山 裕之
昭和54年卒
大学1期
電気工学科



新任理事候補
中道 昌司
昭和5



加藤 弘達 さん

株式会社アバールデータ 取締役
生産管理部 兼 製造部 部長

1972年生まれ 静岡県出身
1995年3月 神奈川工科大学工学部 機械工学科卒業
1995年4月 空調関係企業へ入社
1997年4月 (株)アバールデータ入社
2025年6月 株式会社アバールデータ 取締役就任 現在に至る

村田 英孝 さん

株式会社アバールデータ 取締役
第1 開発部 部長

1972年生まれ 神奈川県出身
1995年3月 神奈川工科大学工学部 電気工学科卒業
1995年4月 (株)アバールデータ入社
2024年6月 株式会社アバールデータ 取締役就任 現在に至る

アバールデータの“ちょうどいい”規模感が魅力 設計・製造から顧客対応まで一貫して携われる環境

■ 学生時代の思い出と学び

村田 印象深いのは荻田研究室での生活です。半導体研究に仲間たちと夜遅くまで取り組み、合間には野球を楽しみました。また、学科の友人4人で北海道まで行ったバイク旅行も良い思い出です。最近、久々に大学時代の友人と再会。彼は日立系の企業に勤めていて、仕事の話でも盛り上がりました。

加藤 私はバスケット部中心の学生生活でした。神奈川県内でも上位チームで、1、2年生の頃は部活動漬けの日々。研究室は流体系の赤池研で、キャビテーション（空洞現象）の研究をしました。研究パートナーと泊まり込みで実験したことも印象深いです。今でも役立っているのは「論文の書き方」。論理的にまとめる力は、現在の仕事でも役立ってます。

村田 私も同感。卒業研究だけでなく、入学当初から授業で「実験レポート」を提出していました。その積み重ねを通し、序章から結論まで順序立ててまとめる力が鍛えられました。現在も、お客様向けの報告書作成の際、分かりやすく伝える力として生きています。

■ アバールデータとの出会い

村田 私たちの頃は就職氷河期。なかなか決まらず、地に足をつけて探そうと大学の就職資料室で電気関係の設計・製造企業を探し、アパー

ルデータを知りました。同窓の先輩が書かれた会社紹介を読み、魅力を感じて入社を決めました。**加藤** 私は、空調関係の会社に入社しましたが、「動くもの」を設計したいという思いが強くなり、大学の恩師に相談してアバールデータを紹介していただきました。当時は血液分析装置などの機械設計に携われる点に魅力を感じ転職しました。

村田 アバールデータは、産業用ロボットや製造装置を支える電子機器メーカー。設計から開発、製造まで一貫して関われる規模感が魅力です。お客様と直接やり取りし、提案から納品まで関われる面白さがあります。設計が好きで入社しましたが、モノづくりだけでなく、人との関わりも大きなやりがいになっています。

加藤 大規模企業のように分業化され過ぎておらず、ファブレス企業ではないメーカーとして、モノづくり全体に関われるのが当社の魅力です。現在は生産統括を担当し、部門連携や方向性づくりにも携わっています。役員も実務と経営の両方に関わるため、責任は大きいですが、その分やりがいも感じています。

村田 私も開発部門全体を統括し、部署間をつなぐ役割を担っています。部長職だけの時代よりさらに忙しくなりました。

■ 神奈川工科大学の後輩たちへ

村田 弊社には幾徳学園出身者が21人在籍し、

社員の約1割を占めています。ただ、学閥のようなものは一切なく、実は社長が幾徳工業大出身だと知ったのも数年前（笑）。私は面接も担当していますが、母校だからと特別視はしません。ただ、真面目で粘り強い学生が多い印象があります。大学を問わず、モノづくりを楽しめる人に来てほしい。静かでも内に熱意を持つ学生を見ると、「うちの会社に合いそうだな」と感じます。

加藤 大学で学んだ知識そのものが、仕事にそのまま生きるとは限りませんが、「考え方」や「調べ方」といった基礎を身につけ、勉学の楽しさを知っていれば、どこの企業でも活躍できます。私自身、転職時には同窓の先輩に鍛えられ、多くを学びました。後輩のみなさんには、勉強も部活動も楽しみ、充実した大学生活を送ってほしいです。



学びの先に見つけた道 鎌倉に響く風鈴の音色

■ 学びの積み重ねが現在につながる



千葉 正昭 さん

協和界面科学株式会社 製造部 部長
黄綬褒章受章(令和8年春)
特級電子機器組立て技能士

1981年生まれ 埼玉県出身
2004年3月 神奈川工科大学工学部電気電子工学科卒業
2004年4月 マミヤオーピー(株)入社
2006年10月 日本電波工業(株)入社 電子部品の開発等
2014年11月 協和界面科学(株)入社 界面科学測定器(表面張力計等)の開発及び製造



接触角計の前で技術への思いを語る千葉さん

令和8年春 黄綬褒章を受章！ 恩師の「何でも1万時間やってみなさい」を胸に

■「まずやってみる!」の精神で歩んだ技術者の道
同窓会 このたびは黄綬褒章の受章、誠にありがとうございます。受章されたときのお気持ちと経緯をお聞かせください。

千葉 ありがとうございます。黄綬褒章は年配の方が受章されるイメージがあったので、「私でいいのだろうか」と何度も思うほど驚きました。5月に皇居で天皇陛下にお目にかかり、ようやく受章した実感が湧きました。2020年の電子機器組立ての特級技能士や「ものづくりマイスター」、2022年の「現代の名工」など、これまでの歩みを評価していただいた結果だと思っています。

同窓会 40代で高等学校教諭一種免許も取得されていますね。

千葉 ものづくりマイスターとして工業高校で指導していた際、生徒から「千葉さんはマイスターだけど先生ではないよね」と言われたことがきっかけです。その言葉に背中を押され、神奈川工科大学の「科目等履修制度」を利用して不足単位を取得し、2023年に高等学校教諭一種免許(工業)を取得しました。

同窓会 技術者として歩む中で、大切にしてきたことは何でしょうか。

千葉 一番の原点は、卒業研究でご指導いただいた黄先生の「まずやってみる!」という言葉です。「自分に向いているかどうかは、やってみなければ分からない」「熱中できるものがあれば1万時間続けてみなさい」。この教えは今でも私の支えです。

私は電子機器組立ての仕事が自分に合っていて、苦にならず続けることができました。就職氷河期の厳しい時代でしたが、「必要としてくれる会社で認めてもらいたい」という思いで努

力を重ねてきました。現在の協和界面科学(株)には、社員の皆さんの笑顔や子育て支援に魅力を感じて入社。入社当初はクレーム対応を担当しましたが、一つ一つ誠実に向き合うことで信頼を得て、今では長年お付き合いいただく大切なお客様となっています。

■神奈川工科大学で学んだもののづくりの基礎
同窓会 母校で印象に残っていることを教えてください。

千葉 黄先生には技術だけでなく、社会人として大切な姿勢まで厳しく教えていただきました。また、研究室にはロボコン世界大会で活躍する同期がおり、その姿に刺激を受け、私も技術者として歩んでいこうと決意しました。卒業研究では半導体材料の異種接合技術に取り組みました。その経験は現在、協和界面科学で携わる薄膜作製装置の開発にもつながっています。

今は、ものづくりマイスターとして高校生の指導にも力を注いでいます。生徒たちの成長や技能競技会での活躍を見ることが、私の大きな喜びであり、生きがいでもあります。

同窓会 最後に後輩へのメッセージをお願いします。

千葉 興味を持ったことには、ぜひ積極的に挑戦してください。何が自分に向いているのかは、やってみなければ分かりません。挑戦を重ね熱中できるものを突き詰めることで、一人前の技術者へと成長できると思います。

神奈川工科大学には素晴らしい先生方がおり、学ぶ環境も充実しています。大学時代から多くの人との出会いに恵まれ、その支えが今の私につながっています。今度は私自身が、その経験や技術を次の世代へ伝えていきたいと思っています。

同窓会 本日はお忙しいところ、ありがとうございます。

下川 隼佑 さん
東京ヤクルトスワローズ 投手

■下川隼佑投手、プロの舞台へ歩んだ道

本学卒業生のプロ野球選手、東京ヤクルトスワローズの下川隼佑投手(情報学部2021年度卒)がプロ初登板を果たしました。

下川投手は、神

地区懇親会実施報告

2025年 特別開催 高専懇親会 実施報告



日時 2025年11月1日(土) 17時～19時30分
会場 レンブラントホテル厚木／3階「ボールルーム相模」
参加者数 149名(卒業生144名／来賓・招待3名／協力スタッフ2名)

長島監査司会による開宴挨拶の後、高専1期生から各期順に起立しての参加者紹介、中山同窓会長挨拶、椎名実行委員長挨拶に続いてシャンパンにて乾杯、来賓代表として谷村学園副理事長の御挨拶、伊藤同窓会初代会長、畑同窓会二代会長による同窓会設立時と経緯紹介のあと、しばし歓談。大谷理事より母校の近況報告、ドローンによるキャンパス空撮紹介、続いて根本監査より同窓会活動報告として静岡・東海地区懇親会、東北地区懇親会、関西地区懇親会の実施報告、同窓会広報誌での卒業生の活躍やホームページのリニューアル進捗状況などを交えながら会員皆様には席を移動しての会員同士の和やかな懇談も進む中、上田オブザーバーによる一本締めにて中締め、参加者全員による豪快な記念撮影のあと、参加記念品(フォトスタンド+IKUTOKU 人文字入り旧高専キャンパス空撮写真)が進呈され、盛会の中、散会となりました。後日、参加いただいた皆様へ御礼状がメール配信されました。

東北地区懇親会 実施報告

日時 2025年9月27日(土) 12時～14時
会場 ホテルモントレ仙台／5階「アイリス」
参加者数 12名(高専5名、大学6名、学園代表1名)



関西地区懇親会 実施報告

日時 2025年10月19日(火) 12時～14時
会場 ホテルグランヴィア京都／5階「古今の間」
参加者数 25名(高専14名、大学7名、大学院3名、学園代表1名)



九州地区懇親会 実施報告

日時 2025年11月15日(土) 12時～14時
会場 オリエンタルホテル福岡 博多ステーション／4階「AKANE」
参加者数 13名(高専8名、大学5名)



第1回教育関連業界支部会が開催されました

幾徳学園同窓会／第1回教育関連業界支部会(参加者16名)が、2025年11月30日(日)、大学内KAIT TOWN(D5号館)2階会議室にて開催され、佐藤支部長、中山同窓会長の挨拶の後、教育アイディア紹介「家電の分解(母校三栖先生)」、「安価な立体視の投影法(母校佐藤先生)」の基調講演に続いて、本学OB教員による講演、出席者の自己紹介と近況報告ほか昼食を交えた有意義な情報共有の場となりました。



第1回の様子

第2回教育関連業界支部会が開催されました

中学、高校の先生をはじめ教育機関にお勤めの方々の情報交換の場として、第2回教育関連業界支部会が2026年8月8日(土)、神奈川工科大学KAIT TOWN 2階の教室にて開催されました。

静岡・東海地区支部懇親会 実施報告

日時 2026年7月11日(土) 15時～17時
会場 浮月楼／本館2階「月光の間」
参加者数 28名(高専10名、大学12名、大学院5名、学園代表1名)



実施報告サイト

第52回 通常総会が開催されました

2025年11月1日(土)、神奈川工科大学 K2号館 1307教室にて通常総会が開催